

平成 24 年度 PCB 廃棄物未処理事業者処理推進立入結果について

1 目的

豊田市 PCB 廃棄物処理計画では、日本環境安全事業(株) (以下、JESCO という。)にて処理が可能な高濃度 PCB を含む廃重電気機器 (高圧コンデンサ等。以下、PCB 廃棄物という。) について、平成 24 年 9 月現在、未処理である事業者等に立入を実施して PCB 廃棄物の保管状況を確認するとともに、早期処理を促す。

2 対象

平成 24 年 9 月 1 日現在で、PCB 油を含む重電機器 (JESCO で処理を行うもの) を使用、もしくは PCB 廃棄物を保管中の計 39 事業場を対象とした。

	H24 年度	(参考) H23 年度
未処理事業場	39	49

3 結果

【立入日】

平成 24 年 9 月 11 日～11 月 1 日（環境保全課及び廃棄物対策課職員）

【概要】

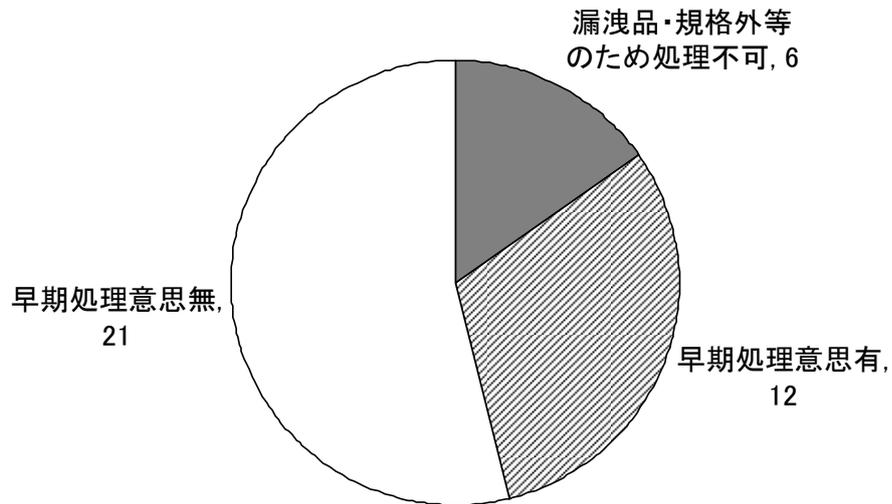


図 PCB保管事業者立入結果

- ・ 39 事業場のうち、6 事業場で漏洩品・規格外等のため、現状では処理ができない事業場であった。
- ・ 現状では処理できない廃棄物のみを保管している 6 事業場を除いた 33 事業場について、早期処理の意志について確認したところ、12 事業場で『早期処理の意志がある』と回答し、21 の事業場（内、使用中は 8 事業場）で『早期処理の意志がない』と回答した。
- ・ 『早期処理の意志がない』と回答した事業場の詳細な理由については、「使用中であり処理期限まで使い続ける」、「処理費用が工面できない」等であった。

4 今後の予定

- ・ 早期処理の意志を示した事業者については、JESCO と協力し、早期処理の促進（処理手続きの案内等）をしていく。
- ・ 今後も、早期処理の実現のため、定期的に保管・使用事業者に対して立入検査を実施していく。